みやぎ県議会だより

令和５年
６月定例会特集
第147号

編集・発行　宮城県議会企画広報委員会
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL 022(211)3592　FAX 022(211)3598

４病院再編 丁寧な説明を

知事「幅広く意見聞く」

第388回宮城県議会（6月定例会）は6月14日から7月4日まで21日間の日程で開かれた。森林を開発して再生可能エネルギー発電施設を新設する事業者に課税する全国初の県条例や、約83億2200万円を盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算、人事案件など21議案と意見書6件をそれぞれ可決した。一般質問では、仙台医療圏に立地する4病院の再編方針や農林水産関連事業の振興策、子育て支援などで活発な議論が展開された。

6月定例会の本会議

県立がんセンター（名取市）と仙台赤十字病院（仙台市太白区）を統合して名取市に、県立精神医療センター（名取市）と東北労災病院（仙台市青葉区）を合築して富谷市にそれぞれ新病院を設置する県の病院再編構想に関しては、丁寧な説明や積極的な情報公開を求める意見が相次いだ。

議員は「知事が5月に精神障害がある当事者と面会した際に提案した当事者の意見を聞く集会が、実現しなかったことをどう捉えているのか」と質問。知事は「反対の意向がある当事者から率直な声を伺うため意見交換の場を提案したが、実現しなかったことは残念。今後も粘り強く働きかけ、意見を聞く機会を設ける」と説明した。

「これまで調査した内容は可能な限り患者や地域住民と共有した上で、意見交換の場を設けるべきだ」と議員は強調。保健福祉部長は「協議の進捗を踏まえ、的確な情報提供に努めていく。さまざまな機会を捉えて意見を伺いながら、丁寧な説明を行う」と答えた。

議員は「精神医療センターの移転後、名取市の新病院に外来を設置することは評価するが、患者のニーズや不安の解消に努める体制づくりは、どのように検討しているのか」と質問。知事は「移転後の精神医療センターとの連携体制や入院調整機能の確保、県南部の患者・家族を支える体制の構築など、引き続き検討する」と答弁した。

県立がんセンターの今後の在り方に関する報告書に関し、議員は「希少がん・難治がんなどの高度医療に関する研究所機能を維持・継続することをこれまで提言してきた。東北大への移管は議論に反する」と指摘した。知事は「研究所機能は東北大を中心として機能分担を図り、その成果は県全体のがん医療に生かすよう考えている」と述べ、具体的な方向性は引き続き協議する方針を示した。

県立がんセンター統合後の新病院について、議員は「がん対策機能の低下を招く恐れがある」とただした。知事は「統合することで、がんを総合的に診療できる病院としての機能強化を図る」と答えた。

防潮堤の整備 完了時期懸念

震災復興事業

東日本大震災の復旧・復興や防災に関する質疑も展開された。県が整備する防潮堤のうち、未完成となっている気仙沼市内の4カ所の防潮堤に関し、議員は「地元では完了時期について懸念する意見がある」として、事業の見通しをただした。水産林政部長は「鮪立地区は本年度末の完成を見込んでいる。他の3地区については事業完了の見通しを示すのが難しい」と答弁した。

県がJR仙台貨物ターミナル駅（仙台市宮城野区）敷地に計画し、工事の長期化などで利用開始時期が2032年度までずれ込んだ広域防災拠点の整備事業について、議員は「整備の完了時期に不安要素はないのか」と質問。土木部長は、自然災害の発生など不測の事態が発生しない限り、さらなる期間の延長はないとの認識を示した。

東北電力女川原発（女川町、石巻市）の重大事故時の住民避難に使うスマートフォンアプリの本格導入について、議員は「幅広く健康づくり活動に取り組んでもらうための有効な手段となる。具体的な取り組み内容の検討を進める」と答えた。

議員は、人工衛星からインターネット接続を提供するサービスについて「大規模災害時に基地局の代替となる有効な手段」と提言した。知事は「インフラが破損した場合でも大容量のデータ通信が可能となり、大規模災害時の有効な通信システムになり得る」との認識を示した。

老朽化が進む水道管に関し、議員は「人工知能（AI）とビッグデータを使った管路劣化診断技術を活用すれば、管路更新の効率化と優先順位の適正化を図ることができる」と強調した。公営企業管理者は「コストを削減できることが期待されるため、活用を検討する」と答弁した。

健康ポイント 導入を求める

デジタルトランスフォーメーション（DX）に関する質疑では、健診などに応じて、買い物や記念品交換ができる「健康ポイント」の導入に関し、議員は「県民総ぐるみ運動として事業を実施するべきだ」と求めた。保健福祉部長は「幅広く健康づくり活動に取り組んでもらうための有効な手段となる。具体的な取り組み内容の検討を進める」と答えた。

議員は、人工衛星からインターネット接続を提供するサービスについて「大規模災害時に基地局の代替となる有効な手段」と提言した。知事は「インフラが破損した場合でも大容量のデータ通信が可能となり、大規模災害時の有効な通信システムになり得る」との認識を示した。

老朽化が進む水道管に関し、議員は「人工知能（AI）とビッグデータを使った管路劣化診断技術を活用すれば、管路更新の効率化と優先順位の適正化を図ることができる」と強調した。公営企業管理者は「コストを削減できることが期待されるため、活用を検討する」と答弁した。

みやマリ！登録料減額を ■育休取得率向上へ ■乳幼児医療支援

着実な少子化対策へ提言

歯止めがかからない少子化への対策や子育て支援に関する質疑もあった。議員は、みやぎ結婚支援センター（みやマリ！）に関し「20代の登録者の増加は少子化対策には有効だ。登録料を減額するキャンペーンを展開するべきだ」と提言した。保健福祉部長は、5月末現在で成婚を理由とする退会が75組あった成果を強調する一方、「20代の登録者は全体の1割程度にとどまっている。登録料の負担軽減を含めて積極的な利活用に向けた対応を検討する」と述べた。

議員は、夫婦のどちらかがキャリアを犠牲にすることなく、協力して子育てできる環境づくりに向け、県職員の育休の現状と課題についてただした。総務部長は「2021年度の男性職員の育児休業取得率は52・3%となり、初めて50%を超えた」と説明し、今後も制度を利用しやすい環境づくりに努める考えを示した。

議員は「乳幼児などの成育医療に関して県独自の取り組みを求める」と要望した。保健福祉部長は「国の方針に沿って、市町村母子保健事業の強化に努める」と話した。

園芸振興の拡充要望

県、一層の施策推進図る

農林水産関連の分野で、議員は「県の農業を発展させるためには、園芸振興が重要になる」と述べ、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」（2021～25年度）に基づく取り組みの成果について質問した。知事は「水田を活用してエダマメやタマネギなどの作付け転換を推進した結果、露地園芸の栽培面積は約100㌶拡大した。施設と露地のこれまでの実績により、園芸産出額は年間約34億円押し上げると見込んでいる。今後も園芸振興施策の推進に努める」と成果を強調した。

「燃料や配合飼料などの生産資材価格が高騰している畜産農家への影響は、収束が見通せない状況にある」と議員は強調、継続的な支援を展開することを要求した。知事は「畜産農家の経営は厳しい状況が続いており、昨年度に飼料購入費の支援などをしたほか、本定例会でも予算の増額を提案した。今後も必要な対策を講じるよう努める」と理解を求めた。

県産木材の普及促進に向け、議員は「一戸建て住宅の支援制度に加えて、マンション建設時の内装等に使用する場合の支援も検討してほしい」と要望。水産林政部長は「マンションの内装等の需要は新たな分野として有望であり、県内で取り組みを始めた事業者も出ている。支援の可能性について検討したい」との姿勢を示した。

ホヤやカキの海外への輸出について、議員は「生産者や加工業者と連携を強化して進めるべきだ」と提言した。経済商工観光部長は「ホヤとカキは県の復興基金を活用して、海外への販路拡大に努めている。ホヤに関しては昨年度、輸出実績のない台湾へのアプローチを試みている」と説明した。

議決した議案等

意見書＜6件＞

○森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書
○エネルギー価格・物価高騰対策の継続を求める意見書
○ALPS処理水について風評被害等を生じさせない対応の早期実施を求める意見書　他

可決・承認・同意した知事提出議案＜21件＞

○令和５年度宮城県一般会計補正予算
○再生可能エネルギー地域共生促進税条例
○みやぎハートフルセンター条例
○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
○宮城県県税条例の一部を改正する条例
○離島振興対策実施地域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
○原子力発電施設等立地地域における県税の特例に関する条例の一部を改正する条例
○看護学生修学資金貸付条例の一部を改正する条例
○児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
○工事請負変更契約の締結について（仙台塩釜港塩釜港区防潮堤改良工事）
○人事委員会委員の選任につき同意を求めることについて
○公安委員会委員の任命につき同意を求めることについて
○和解について　他

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽**守屋守武**（自民）持続可能な沿岸漁業の在り方について、農林水産物の輸出戦略について　他▽**天下みゆき**（共産）4病院再編構想撤回を求める、広域防災拠点整備事業について　他▽**松本由男**（自民）災害用システムの有効活用について、物流2024年問題対応について　他▽**八島利美**（自民）農業生産資材等高騰対策について、阿武隈急行線存続に向けての取組　他▽**坂下賢**（県民の声）ALPS処理水の海洋放出について、4病院の統合再編について　他▽**わたなべ拓**（自民）東北大学発宇宙スタートアップ支援、県立高校校庭など県有地の民間活用　他▽**渡邉重益**（自民）東日本大震災の復旧・復興について、園芸振興について　他▽**大内真理**（共産）県営住宅廃止方針撤回、建て替え計画を、地下水から基準値超のPFAS検出　他▽**伊藤和博**（公明）生涯を通じた健康づくりとDXについて、宮城県の少子化対策について　他▽**伊藤吉浩**（自民）農業関係について、持続可能な地域づくりについて　他▽**佐藤仁一**（県民の声）異次元の子ども関連施策について、県広域防災拠点関連の連動について　他▽**本木忠一**（自民）「地方再生」について、ライフル射撃場整備について　他▽**菅間進**（無所属の会）がんセンターと県のがん対策について、県民会館跡地等県有地活用について▽**畠山和純**（自民）復興事業の完遂に向けて、県産木材の販売促進について　他▽**藤倉知格**（自民）大和町鶴巣地区への新産廃処分場問題、吉田川水系の総合的な流域治水対策　他▽**枡和也**（県民の声）竹の内産廃処分場の現状と今後について、医ケア児家族への情報提供について　他

＜会派名略称＞
自由民主党・県民会議（自民）、みやぎ県民の声（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団（共産）、公明党県議団（公明）、社民フォーラム県議団（社フォ）、無所属の会（無所属の会）、21世紀クラブ（21世紀ク）、無所属（無所属）

予算特別委員会

６月28日に総括質疑を行った後、各分科会での審査を経て、物価高騰等の影響を受ける一般家庭のＬＰガス料金の負担軽減策や、特別高圧で受電する中小企業等の負担軽減、地域ポイント等導入調査費などを盛り込んだ令和５年度一般会計補正予算を可決した。

統括質疑者　横山隆光、庄田圭佑、遠藤隼人、佐々木賢司（自民）、石田一也（県民の声）、三浦一敏（共産）、横山のぼる（公明）、熊谷義彦（社フォ）、菅間進（無所属の会）、吉川寛康（21世紀ク）

常任委員会

今定例会での主な審議事項は次の通り。

○総務企画委員会

再生可能エネルギー地域共生促進税条例、職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例、宮城県県税条例の一部を改正する条例、離島振興対策実施地域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例など10議案

○環境福祉委員会

みやぎハートフルセンター条例、看護学生修学資金貸付条例の一部を改正する条例など４議案

○経済商工観光委員会

なし

○農林水産委員会

なし

○建設企業委員会

工事請負変更契約の締結について（仙台塩釜港塩釜港区防潮堤改良工事）の１議案

○文教警察委員会

公安委員会関係手数料条例の一部を改正する条例、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の２議案

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は４月24日に参考人意見聴取を行った。東京電力ホールディングス株式会社から、①福島第１原発事故に起因する損害賠償の概要と進捗状況、今後の方針②福島第１原発の廃炉と汚染水の現状・対策③多核種除去設備等処理水の現状と今後の取り組み―などについて説明を受けた。

７月26日には福島第１原発で、原子力建屋や多核種除去設備等の現状を視察した。その後東京電力に対して、「発電所事故に起因する被害に係る迅速かつ十分な損害賠償」と「原発事故の早期完全収束の実現」について要請活動を実施した。

また、７月27日には復興庁に対して、震災からの復旧・復興対策に係る要望活動を行った。

委員が福島第１原発を視察

議長記者会見

６月定例会閉会日の７月４日、菊地恵一議長が記者会見を行った。６月定例会を振り返って菊地議長は「県立病院等４病院の統合・合築などの地域医療に関することや農林水産業に関し、多くの議員が取り上げたほか、防災・復興に関することや、子ども・子育て・人口減少に関する施策、デジタル・トランスフォーメーションの推進に関する施策などで議論を交わした」と説明した。

菊地恵一議長

さらに「教育行政や地域交通関連、再生可能エネルギー政策、福島第１原発における処理水の取り扱い、廃棄物処分関連なども取り上げられるなど、幅広く活発な議論が行われた」と述べた。

また、今定例会から試行を開始したペーパーレス化の推進の取り組みに関して「会議出席者が（タブレット）端末を持ち込み、ペーパーレス会議システムに登録された会議資料を確認しながら会議運営を行った。初めての運用だったが、紙資料との併用で試行したこともあり、混乱はなかったと思う」と話した。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサートのご案内
◇次回コンサートの開催予定
・開催日時／定例会開会日
　９月５日（火）
　午後０時15分～45分
・場　　所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出　　演／東北大混声合唱団
・ジャンル／混声合唱

●傍聴のご案内
本会議の傍聴について、傍聴を希望される方は、本会議開催日当日、議会庁舎５階にある傍聴受付へお越しください。

各委員会について、傍聴を希望される方は、委員会開会日当日、議会庁舎１階ロビーへお越しください

詳細については、022(211)3571（総務課）までお問い合せ下さい。

みやぎ県議会だより　検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れております。

宮城県議会　検索

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会中継　検索

●議会中継のご案内
インターネットで議会中継や録画映像をご覧いただけます。